

感染症拡大防止のための 迅速な地域封鎖の効果とその要件

伊藤秀行¹・Vuong Thi Tuyet Trinh²・横松宗太³・Le Thi Kim Oanh⁴

¹非会員 減災ロジスティクス研究所 (〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森天神287-2)

E-mail:pi0001@h3.dion.ne.jp

²非会員 名古屋大学大学院 法律研究科 (〒464-8601 名古屋市千種区不老町)

E-mail:vuongtuyettrinh.cjlv.law@gmail.com

³正会員 京都大学准教授 防災研究所 (〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄)

E-mail:yokomatsu.muneta.7v@kyoto-u.ac.jp

⁴非会員 名古屋大学大学院 法律研究科 (〒464-8601 名古屋市千種区不老町)

E-mail:lekimoanh1508@gmail.com

2019 年末に中国・武漢で出現したとされる新型コロナウイルス (COVID-19) による感染症は、その 10 ケ月後に世界でおおよそ累計 3,400 万人の感染者と約 100 万人の死者をもたらしている。本調査研究は、世界各国が様々な感染拡大防止策を講じてきた中で、初期対応に成功したといわれるベトナムに着目し、そこにおいて実施された地域封鎖について、それがどのような経緯で進められたのか、封鎖に伴いどのような措置がとられたのか明らかにする。そして、今後出現する新たな感染症に対処するために、ベトナムと同様に COVID-19 の初期対応に成功したといわれる台湾の施策も参考にして、初期対応の一環としての地域封鎖を効果的に実施するための要件を検討し、今後の応用のための条件の整理を行う。

Key Words : Lockdown, Quarantine, Infectious Disease, Novel Coronavirus

1. 本研究の目的

2019 年末に武漢(中国)で出現したとされる新型コロナウイルス (以下、COVID-19) による感染症は、ジョージタウンズホプキンス大学の集計 (2020 年 10 月 1 日現在) によると、その 10 ケ月後には、全世界で累計感染者数おおよそ 3,400 万人、累計死者数約 100 万人をもたらした¹⁾。この COVID-19 の問題に対処するために、様々な角度から調査・研究がなされているが、第3波・第4波や新たな感染症に対処するためには、これまでにとられた各国の感染拡大防止の施策の具体的内容を比較検討することも必要である。

そこで、本稿では、初期対応に成功したといわれる国の中で、ベトナム政府が行った地域封鎖について、それがどのような経緯で進められたのか、封鎖に伴いどのような措置がとられたのか、その具体的内容を明らかにする。そのうえで、地域封鎖が有効に機能するためにはどのような準備が必要かを検討する。更に、今後、新たに

出現してくる感染症に対処するために、初期対応の一環としての地域封鎖を効果的に実施できるよう、ベトナムと同様に COVID-19 の初期対応に成功したといわれる台湾の施策も参考に、今後の応用のための条件の整理を行う。

感染症の発生・拡大に備え、地域封鎖のような対応策を取らなくても良いように準備しておくことが重要であることは言うまでもない。しかし、経済がグローバル化した結果、人や物の往来が増大し、そのスピードも増している現在、水際でウイルスの侵入を完全に阻止することは難しくなっており、特定の地域の封鎖が必要になることを想定しておく必要がある。一方、地域の封鎖は、経済活動に大きな影響を及ぼすうえ、対象地域の住民の基本的権利 (人権) に関わる問題である。従って、それらへの制約を最小限にしながらか感染の拡大を阻止するための要件を検討しておくことには意味があると考えられる。

2. 地域封鎖の事例

現代社会では、封鎖された地域内で人々が自給自足の生活をするのは難しく、日々の生活を続けるためには地域外との間で一定の経済活動や交易が必要になる。それに伴い、人や物が封鎖の境界を越え行き来することになり、封鎖区域から非封鎖区域にウイルスが移動し感染が拡大する可能性が高まる。従って、人や物の移動とともにウイルスが地域外に出ないよう封鎖の実施方法について十分な検討が必要になる。

2014年にアフリカで爆発的感染を招いたエボラ出血熱のケースでは、次のように状況が紹介されている。

「2014年8月、リベリアの首都モンロビアのウエストポイント地区(人口は約75,000人)が封鎖され、その後、半島全体(約100万人)に封鎖が拡大された。しかし、衛生状態が悪いため感染が一気に拡大し、治安が悪化した。また、封鎖当初は水も食料も供給されず、物価は2倍に高騰した。9月になるとアメリカ、イギリスなど国際社会からの支援が開始された。そして、2016年3月29日にWHOは緊急事態の収束を宣言した(筆者要約)。」²⁾すなわち、エボラ出血熱の事例から、突然の封鎖は混乱を招き、むしろ感染を拡大する恐れさえあることがわかる。地域封鎖を実施するためには、十分な準備が必要であることを認識する必要がある。

また、COVID-19の感染問題ではイタリアのベネト州にあるボ村(ベネチアから西へ50km、人口3,300人)の封鎖事例もある。イタリアは国全体としては初期対応に問題があり、2020年3月1日に192名であった感染者は同年6月1日には233,346名に急増した。しかし、その中であって、ボ村は、素早い封鎖で感染拡大阻止に成功している。

2020年2月21日、イタリアで最初の死者がこの村でた。(同日時点でのイタリア全土での感染者は3人であった。)村はただちにバーや公共施設を閉鎖した。23日には村に通ずるすべての道路が閉鎖された。また、当時国は、疑わしい症状のある人や中国に渡航したことのある人を対象にPCR検査を実施するとの方針をとっていたが、21日にベネト州政府は全村民への検査の実施を決定した。検査の結果89人の陽性が判明した。陽性者は州内10ヶ所の新型コロナ患者専用のセンターに隔離された。陽性者の43%は自覚症状がなかった。最終的には3名の死者がでたが、近隣への感染拡大を止めることができた。一方、ベネト州に隣接するロンバルディア州は、遅れて2月下旬にロックダウンの措置をとったが、ベネト州と比べ、その感染者数は5倍、死者数は8倍となった。イタリア全土にロックダウンが拡大したのは3月9日であった。ベネト州感染症対策顧問は「ウイルスが広がってから、ロックダウン(都市封鎖)で追いかけてようとしても無理だ。無症状の人をあぶり出し、先回り

してウイルスと向き合う(筆者要約)」と述べている³⁾。ボ村の事例は、感染の初期段階での地域封鎖が有効なことを示唆している。

COVID-19への初期対応に成功したといわれる国として、台湾やベトナム、ニュージーランドが挙げられている。2020年10月29日現在で、台湾では累計感染者数553名、死者数7名が記録されている。ベトナムでは、それぞれ1,172名、35名であり、ニュージーランドではそれぞれ1587名、25名である⁴⁾。その中で、ベトナムは初期対応の一環としてある特定の地域、ソンロイ村の封鎖を実施し感染拡大の防止に成功した。そこで以下ではその事例を対象にして、地域封鎖を実施する場合の要件について検討する。そのうえで、台湾の初期対応施策も参考に、地域封鎖を成功させるための初期対応策について考える。

3 ベトナム ソンロイ村の封鎖事例

はじめに、ベトナム政府が実施した地域封鎖について、その実態を述べる。封鎖の対象となったのは、ビンフック省ビンズエン区のソンロイ村である。この村は、ベトナムの首都ハノイの北約40kmにあり、面積は9.6km²ほどである。人口は約11,000人であり、その60%は農業従事者である⁵⁾。

2020年1月17日に中国・武漢の日系企業での実習を終えて帰国した8名のうち6名が感染していた、そのうちの1名がソンロイ村住民で、その1名より感染が拡がり6名となった。この状況を受け、2月12日に、人民委員会は翌13日～3月4日午前0時迄ソンロイ村を封鎖することを決定した。この時、ベトナム全土での感染者は16名であった。

(1) ソンロイ村封鎖に至るまでのベトナム政府の感染症拡大に対する対応

2020年1月2日、フック首相は各省にCOVID-19に対する準備の指示を出し、16日にはミン副首相が病気についての情報収集の指示を出した。23日には国内で初の感染者(中国からの来訪者2名)が確認され、同日、首相は反流行委員会の設置を指示するとともに、27日には「侵略者との戦いのような伝染病との戦い」というメッセージを国民に発信した。

同27日、ビンフック省政府は、流行の防止に注力するために省の各機関の緊急を要しない活動をすべて停止すると同時に、①省立の大学に200床の野戦病院を設立する、②ビンズエン区の総合病院を入院治療施設とする、③隔離場所を軍事学校内に設けることなどを決定するとともに、④疫学調査の体制をスタートさせた^{6),7)}。そして、1月末に至り、ベトナム政府は中国との国境ゲート

を閉鎖した⁹⁾。

2020年2月1日には、国内感染者が6名になった。2月7日には封鎖に関するガイドラインが決定された。12日にビンズエン区人民評議会は、ソンロイ村の封鎖の展開方法や病気に関する情報の周知方法、隔離された人々に対する補償、生活物資の安定供給等の経済対策について具体的な決定をした。そして同日午後ソンロイ村に出向き、封鎖に関する説明を実施した。封鎖と同時に12の検問所が設けられ、警察官、医療従事者、軍人が待機し、24時間の監視体制がとられた。そして、感染が確認された人と感染の疑いのある人(F0)はビンズエン区にある区総合病院に隔離(入院隔離)された。また、感染者の家族など感染者と一緒に生活した人(濃厚接触者, F1)は、ビンフック省ビン・イエン市の軍事学校内の施設に隔離(観察隔離)された。濃厚接触者と接触した人(F2)も同軍事学校内の施設に隔離(観察隔離)された。すなわち、感染者やその疑いの高い人、感染の可能性のある人は村外で隔離された。一方、F2との接触者(F3)は自宅での隔離生活となり、それ以外の人(F4)は村内隔離(封鎖)の対象となった^{9),10)}。

村外へ出ることについては、出産・急病のほか、葬儀の場合には、3人のみではあるが火葬場への同行が可能という例外措置も設けられた¹¹⁾。

更に、村外への農産物・畜産物の出荷禁止措置がとられた。そのため、約62トンの豚肉や17トンの家禽、24万個の卵、12haの農地の収穫に相当する野菜と果物が販売できなくなった¹²⁾。

(2) 封鎖期間中の村民の生活と健康チェック体制

村が封鎖されても、多くの村民の日常生活は特に変わることがなかった。村の住民はスポーツをしたり、畑に行ったりすることができた。むしろ住民が村の外に出ないので、普段は静かだった村の道路が正月のように混雑した¹³⁾。

国は体温計・マスク・消毒用アルコールを支給するとともに、毎日、村民の検温を行い、熱や咳のある人は集落内の人民委員会施設に隔離して様子を観察することにした。検温には集落内非感染ボランティアも参加した¹⁴⁾。その結果、封鎖後に感染者は発生せず、また感染者も全員回復した。そして、3月4日午前0時に封鎖は解除された¹⁵⁾。

7月31日に至り、ベトナムで最初の死者がでた¹⁶⁾。

(3) 封鎖にともなう村民の生活に対する具体的措置

2月7日に示された封鎖に関するガイドラインにもとづいて、同月12日に、ビンズエン区人民評議会は村民の生活の安定のために生活必需品の安定供給や補償金の支給等の経済対策について、以下のような決定をした¹⁷⁾。

a) 住民への必需品提供とその価格の安定化対策

ビンズエン区の人民委員会は、村民11,000人を対象に、食料(米、トウモロコシ、ジャガイモ、子供用の牛乳、野菜、果物、肉、塩、魚ソース、砂糖、他)、調味料、日用品(洗剤、石鹸、紙、他)、家畜の飼料(牛、豚、鶏、他)などを明示して安定供給を促した。具体的には、例えば、米は1日3,300kg、豚肉・鶏肉・カモ肉などは2,200kg、食用油20L、野菜6,700kg、卵2,200個、牛乳50Lとしている。また豚・牛・ニワトリなどの飼料についても安定供給を促して。そして、安定供給のために区の各機関にその役割について指示を出した。経済部には調達と供給について、財政部には価格の安定について、文化情報部には村民への周知について、公安委員会には価格の監視についてなどである。

更に、村外と村内の商品受け渡し方法についても具体的に示した。これにもとづき、毎日朝5時ぐらいに、検問所を挟んで集落内の市場で小売店を営む人との間で商品が売買された。交換の直前に、貨幣は消毒された。ガソリンについては、村内に臨時の給油所が開設され、1日500~600Lが販売された¹⁸⁾。

b) 封鎖にともなう村民への補償

村民に経済的補償が示された。①村内施設隔離者(F3)には1日60,000VND(270円、2020年12月4日の為替レート)。②村内隔離者(F4)には1日40,000VND(180円)となっている。そして、封鎖解除(3月4日午前0時)後の3月4日には、村の人民委員会の施設で、6歳(小学生)以上を対象に補償金が現金支給された¹⁹⁾。

これらの金額が日本の場合にどの位の価値に相当するのかわかる。政府が定めた最低賃金と比較すると次のようになる。ベトナム北部の2019年の法定最低賃金(月額)は、①ハノイ市とハイフォン市の区部が418万VND(約18,900円)、②区部以外のハノイ市とハイフォン市が371万VND(約16,700円)、③ハイズン省、バクニン省、クアンニン省の一部地域が325万VND(約14,700円)、④その他の地域が292万VND(約13,200円)となっている。ソンロイ村には「その他の地域」が適用される²⁰⁾。

一方、日本の場合、他と地区と比べ低くなっている九州・山陰地区(2020年)の最低賃金をみると790円/時間であり、1日8時間月20日労働した場合126,400円となる²¹⁾。

従って月額最低賃金額は126,400円(九州山陰地区)対13,200円(ベトナム北部その他地区)で、おおよそ9.6:1の比率になる。この比率を参考にすれば、村内隔離者(F4)への支給額である1日40,000VND(180円)は、1,730円程に相当すると考えられる。

c) 封鎖期間中の労働

工業団地で働いている約2,300人の人達は、仕事に就けなかったが所定の給与は受け取ることができた。その

一方で、地区の外に出てフリーランス的な職に就いていた1,000人ほどは、20日間仕事がなく収入がなかった。また、販売業やサービス業は営業ができず、経営上大きな影響を受けた。

農民は1日3時間、封鎖域外の農場で農作業をすることができた²²⁾。地区周辺は米の二期作が可能であり、この時期は田植えの時期であった。

d) ゴミの収集と処理

封鎖を機に、生活ゴミの処理方法が変更された。村のゴミ排出量は1日15t程度であり、封鎖前は週2回収集され埋め立て処理がなされていたが、封鎖を機に、毎日収集されるようになった。収集されたゴミは粉末石灰と消毒剤で処理したうえで埋め立て処理された²³⁾。なお封鎖解除後に、村内に焼却場が設置された²⁴⁾。

4. 迅速な封鎖と効果ある封鎖の実施のために事前に検討しておくべき要件

ソンロイ村の封鎖事例から、効果的に封鎖を行うために、前もって検討しておくべき具体的なオペレーションが明らかになった。

- ① 封鎖の決定と解除の時期を明確にし、封鎖地区の住民に説明できるようにしておく。
- ② 封鎖の決定と同時に検問所の設置や監視体制がとれるようにしておく。
- ③ 感染者・感染被疑者の隔離所の用意をしておく。
- ④ 封鎖期間中の生活がどのようになるのかを示す。これは住民の不安解消にとって重要である。例えば、日々の検温や一定の症状が出た場合の措置、消毒の体制、生活ゴミの処理方法などを具体的に説明できるようにしておく。また、例外措置について明示することも重要である。
- ⑤ 生活必需物資が安定して供給されるということのみならず、安定供給を保障する体制等についても説明し、住民の不安を解消できるようにしておく。
- ⑥ 経済的補償を提示できるようにしておく。

以上のようなことがあらかじめ準備されていなければならない。

なお、ベトナムのWi-Fiの普及率は70%程度であるため、ソンロイ村の住民もインターネットを通して日常生活に必要な情報の入手はでき、情報の断絶の心配はなかったと考えられる²⁵⁾。

5. 地域封鎖が初期対応の一環として成功するための要件の検討

(1) 防疫の3ステップ

地域封鎖それ自体が効果を発揮するための具体的なオペレーションについては、4.で検討した通りである。しかし、初期対応の一環としての地域封鎖であることを考慮すれば、初期対応全体が成功することが重要となる。

防疫に必要な対策は、以下の3ステップで構成される。まずはできるだけ水際でウイルスの侵入を遅らせながら（ステップ1）、侵入したウイルスの感染の規模が小さくうちに徹底的な検査と封鎖もしくは隔離を行うことである（ステップ2）。しかし、ステップ2では対応できないほどに感染が広がってしまった場合には、都市封鎖などで人の移動を少なくして感染の機会をできるだけ減らす（ステップ3）という対応が必要となる。経済がグローバル化し、人や物の往来が増え、そのスピードも増している現在、水際でウイルスの侵入を完全に阻止することは難しい。水際ですできるだけ進入をくい止めながら、侵入したウイルスの感染拡大が小規模なうちに地域封鎖や感染者隔離を行い感染の収束をはかることが求められる。

すなわち、ウイルスが広がってからロックダウン（都市封鎖）で追いかけるのではなく、感染の規模が小さいうちに無症状の人をあぶり出し、先回りしてウイルスと向き合う必要がある。そこで以下では、初期対応に成功したといわれる台湾の事例も参考にしながら、地域封鎖を含むベトナムの初期対応が成功したと考えられる要因について検討する。

(2) 素早い初期対応

ベトナムも台湾も1月の早い時期から対応を開始している。

a) ベトナムの初期対応

感染症拡大に対するベトナム政府の対応の経緯に関しては、3.(1)に記したように、2020年1月2日の首相のCOVID-19に関する各省への準備指示に始まって、副首相の情報収集の指示、反流行委員会の設置、ビンフック省政府の具体的な準備の開始などが1月中に行われ、国内感染者が6名になったことと前後して、国境管理が開始された。また、2月7日には封鎖に関するガイドラインが決定している。

b) 台湾の初期対応

台湾は感染症に対する独自の情報収取体制を整えていた。そして、2019年末に武漢での新規感染症発生の情報をSNS上からキャッチして対応を開始した。キャッチした情報はWHOにも報告している。最初の感染者を2020年1月11日に把握した。1月中旬には対策本部を設置し、入境管理も開始した。そこでは、まず武漢からの訪問者の入国を制限した。そして、海外からの帰国者などには、自宅検疫を要請した。感染者には自宅隔離を強制

した²⁶⁾。

また、感染者が一人出ると学級閉鎖し2人になると休校措置を取った²⁷⁾。自宅隔離者(濃厚接触者)については、保健所が毎日2回ずつ健康状態を確認した。自宅検疫者(海外からの帰国者)については里長/里幹事が確認をした²⁸⁾。更に、感染者マップをデジタル化し状況把握を容易にできるようにした²⁹⁾。

c) 素早い初期対応が可能であった理由

ベトナムの医療水準は近隣のアジア諸国と比べても低いと言われる³⁰⁾。また、ベトナム政府も自国の医療システムが脆弱であることがわかっていた³¹⁾。例えば、PCR検査キットについて、自国での生産が可能になったことを、2020年4月27日に保健省のサイトで報じているが、それまでは、WHOの支援とアメリカCDCやドイツからの調達に頼っていた³²⁾。自国の医療システムの脆弱性を認識するということが為政者と医療の専門家との間で対話が成り立っているということでもあり、対話を通して素早い対応が必要であることを認識していたと考える。

一方、台湾は2003年のSARSへの対応に失敗した反省に立って、体制を整えていた。特に、WHOに加入が認められていないことから、情報の入手に遅れを取ることを恐れ、独自の情報収集体制を築き、その結果、早い段階で武漢の状況を入手した。つまり失敗の経験に学んだことが早い対応に繋がったと考えられる。

このように、ベトナム政府、台湾政府ともに、為政者自身が「正しく恐れた」ことが素早い対応に繋がったと考えられる。この点は、アメリカ、ブラジル、ベラルーシなどの為政者と異なるところである。昨今、国民に対して「正しく恐れる」ことが求められることが多いが、まずは為政者こそが、正しく恐れる必要がある。

(3) 地域封鎖や隔離政策に対する国民の支持

ベトナムでは、2020年1月27日に、首相が「侵略者との戦いのような伝染病との戦い」というメッセージを国民に発信した。ベトナムには中国の各王朝との間で長い軋轢の時代があった。紀元前2世紀から10世紀半ばにかけての1000年余りは、ベトナムの歴史では「北属期」と呼ばれる。ベトナムが中華帝国による支配下に置かれた時代である。938年にゴ・クエンが南漢軍を破って独立を果たすが、その後も19世紀後半にいたるまで、ベトナムは(明の支配下に置かれた一時期を除き)、時に北からの侵略に武力で対抗しつつ、中国の歴代王朝との間で朝貢関係を維持していた。この関係が終わったのは、ベトナムがフランスという新たな「主人」の支配下に入った時であった³³⁾。唐の時代の8世紀半ば(日本では奈良時代)に、日本の遣唐留学生であった阿仲麻呂(唐名、朝衡)は玄宗皇帝より安南都護府の都護(長官)に

任命されている。安南都護府は、唐王朝がベトナムを支配するために現在のハノイ市周辺に設置した役所(城郭)である³⁴⁾。

このようなことから、ベトナムには、中国の侵略に対して果敢に抵抗した人物を民族の英雄として崇拝する伝統がある。しかし、19世紀後半以降はフランスの植民地となり、第二次世界大戦終結直後の政治的空白期に独立の宣言(ベトナム8月革命)をしたものの、フランスの再度の侵攻に続くアメリカの侵攻があり、いわゆるベトナム戦争が終わったのは1975年である³⁵⁾。

このような歴史的背景から、民族としての記憶、またベトナム戦争の個人としての体験や記憶を理解すれば、このような表現「侵略者との戦いのような伝染病との戦い」が国民に理解されやすいと考えられる。

また、封鎖を決定した2020年1月12日の午後には、ソンロイ村住民へ封鎖に伴う具体的措置(生活必需品の安定供給や経済的補償他)を説明し、封鎖への協力を求めている。2020年5月上旬、国民の80%が政府のコロナ対策を支持しているという、国営テレビ局(VTV)が実施した調査の結果がYouTubeで放映された³⁶⁾。

台湾の場合、専門的知識を有する政府の担当者がテレビなどを通して国民との対話を積極的に行なった。例えば、陳時中・政府対策本部長は、毎日の記者会見で質問が尽きるまで誠実に答え続けた。その結果、大手テレビ局TVBSが3月26日に発表した世論調査では支持率が91%に達した³⁷⁾。

また、マスクの買いだめを防ぐために、政府が、健康保険証で購入履歴を管理することを通じた対策を講じるとともに、その在庫を見える化し安定供給を図った。その結果、買いだめやその結果としての不足騒動は発生しなかった。また、その際に、例えば自宅隔離者の位置情報などの、国民のプライバシーにかかわるデータは一定期間後廃棄するという約束もなされた³⁸⁾。これも、国民による政府の政策への支持に繋がった一因である。

丁寧な説明は、感染症に対する国民の理解を促すとともに、国民に安心感を抱かせることができる。国民の理解の向上は、フェイクニュースへの対応力向上にもなる。それらは政策への支持に繋がっていく。

6. まとめと残された問題

本稿では、ベトナム政府が、ソンロイ村の封鎖を始めとした素早い対応策によって、COVID-19に対する初期対応を成功させたことを述べた。その一方で、それによって生じた経済の減速からの回復には、海外との往来の再開、例えばビジネス目的の入国者らの隔離の緩和等が大きな鍵となる。厳しい隔離によってCOVID-19を封じ込めてきたベトナムにとって、緩和の時期の決定は簡単なことではない。ベト

ナム政府内部での議論が続いている³⁹⁾、もし、その時期を過ぎて感染を拡大させれば、成功した初期対応の効果が削がれてしまうだろう。それは台湾にとっても同じである。

この「緩和の時期の決定」という難しい問題を克服することができれば、初期対応から終息までの全過程を通じた対応策が完了したことになる。その経験は、他国にとっても、今後の感染症対応を検討するうえで大変参考になるだろう。従って、緩和の時期の決定という難しい問題が解決された時点で、この全過程について、為政者・医療関係者・国民それぞれがどのような行動をとったかについての詳細な検証が重要になる。更に、スウェーデンが採用した「早い時期に集団免疫を獲得する」という戦略との比較も必要になる⁴⁰⁾。

一方、一国だけが COVID-19 を完全制圧できたとしても、他国での感染が終息しない限りグローバルな経済活動は制限される。従ってワクチンが完成し、そのワクチンを世界各国で共同購入して分配する国際的枠組み「COVAX (コバックス)」のような仕組みが整うことも重要になる。

本研究で用いたベトナムに関する情報は、インターネットや日本国内のメディアによって報道されたものに限定されている。今後は、現地調査による確認や不足情報の補充も必要と考えている。

参考文献

- [1] JIJI.COM, 新型コロナウイルス, 現在の感染者数(29日午後8時時点) 死者117.5万人に, 10/30 1:37, (2020年11月2日取得, <https://news.yahoo.co.jp/articles/074f27e83fc08b42f6615788007669140f309b89>)
- [2] 朝日新聞 *Globe*, グラウンド・ゼロの教訓, 2017年7月2日, No195.
- [3] 朝日新聞デジタル, 「先手必勝, 小さな村から学ぶ決断力 隣の州では感染爆発」, 2020年8月9日
- [4] 日本経済新聞 「各国コロナウイルス感染マップ(10月29日時点)」, (2020年10月30日取得, <https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/coronavirus-world-map/>)
- [5] ビン・スエン区, 「ソンロイ村」(in Vietnamese), (2020年3月14日取得, <http://binhxuyen.vinhphuc.gov.vn/Pages/detail.aspx?newsid=388>)
- [6] ベトナム政府電子新聞, 「感染拡大の流行に勝ちたい: 敢然的、積極的、しかし、落ち着いて」2020年2月2日, (in Vietnamese), (2020年11月13日取得, <http://baohinhphu.vn/Suc-khoe/Muon-thang-dai-dich-Quy-et-lic-tu-dong-nhung-phai-binh-tinh/386351.vgp>)
「Vinh Phuc (ビンフック)、Covid-19の感染の予防と管理のために多くの緊急の内容を実行する」, 2020年2月12日, (in Vietnamese), (2020年11月13日取得, <http://baohinhphu.vn/Suc-khoe/Vinh-Phuc-trien-khai-mot-so-noi-dung-khan-cap-phong-chong-dich-benh-Covid19/387355.vgp>)
- [7] ビンフック省総合病院, 「夜、野戦病院を設立」(in Vietnamese), (2020年11月13日取得, <http://dakhoavinphuc.com/News/Details/681b8ce4-e20b-431e-a057-b914b90e586a>)
- [8] 在ベトナム日本大使館, ベトナム国内における新型コロナウイルス関連発表(続報), 2020年2月2日, (2020年11月13日取得, https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/corona0202.html)
- [9] ビンフック省, 「ビンフック省が COVID-19 流行防止から学んだ多くの教訓」(in Vietnamese), (2020年6月5日取得, https://vinhphuc.gov.vn/ct/cms/tintuc/Lists/ThoiSuChinhTri/View_Detail.aspx?ItemID=9718)
- [10] ビン・スエン区, 「ビン・スエン区はソンロイ村を隔離・封鎖を決定」(in Vietnamese), (2020年6月5日取得, <http://binhxuyen.vinhphuc.gov.vn/pages/Detail.aspx?newsid=2496>)
- [11] Zingnew 電子新聞, 「10日間封鎖後のソンロイ村」, (in Vietnamese), (2020年3月14日取得, <https://news.zing.vn/nhip-song-o-tam-dich-son-loi-nhung-ngay-phong-toa-post1050636.html>)
- [12] ビンフック省, 「ソンロイ新しい日」, (in Vietnamese), (2020年6月26日取得, <http://baovinhphuc.com.vn/phong-su-ghi-chep/68266/son-loi-ngay-moi.html>)
- [13] BBC News, 「ソンロイ (ビンフック) : 流行の中心エリアの封鎖されている人々の生活」2020年2月21日, (in Vietnamese), (2020年6月26日取得 <https://www.bbc.com/vietnamese/vietnam-51555738>)
- [14] 同上[11]
- [15] ALJAZEERA, Coronavirus miracle? Vietnam says all its infected patients cured (NEWS/VIETNAM) 2020年2月29日, (2020年3月14日取得, <https://www.aljazeera.com/news/2020/02/infected-patients-vietnam-cured-coronavirus-miracle-200228035007608.html>)
- [16] A F P, 「新型コロナウイルス, 現在の感染者・死者数 (31日午後8時時点)」, 2020年8月1日 1:48 発信地: パリ/フランス, (2020年8月5日取得, <https://www.afpbb.com/articles/-/3296829>)
- [17] ビン・スエン区, ビン・スエン区人民委員会資料 (in Vietnamese), (2020年6月5日取得, <http://binhxuyen.vinhphuc.gov.vn/Content/Uploads/Docs/7E2F4049F520642A2E85B83FBCD80DDF.pdf>)
- [18] 同上[11]
- [19] ハノイモイ電子新聞, 「ソンロイ村の人々は、封鎖が終了する前に支援金を受け取る」, 2020年3月3日 (in Vietnamese), (2020年3月14日取得, <http://www.hanoimoi.com.vn/tin-tuc/Xa-hoi/960051/nguoi-dan-xa-son-loi-nhan-tien-ho-tro-truoc-gio-het-cach-ly>)
- [20] 日本貿易振興協会, 「2020年の最低賃金を交付 平均引き上げ率は5.5%」, (2020年9月5日取得, <https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/11/95cbc9af10177409.html>)

- [21] 厚生労働省, 「地域別最低賃金の全国一覧 (令和2年度)」, (2020年9月5日取得, https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudo-ukijun/minimumichiran/)
- [22] 同上[11]
- [23] ビンフック省, 「コロナウィルスの感染者の治療所と隔離地で廃棄物および医療廃棄物の処理を強化」 (in Vietnamese), (2020年6月5日取得, https://www.vinhphuc.gov.vn/ct/cms/tintuc/Lists/VanHoaXaHoi/View_Detail.aspx?ItemID=9819)
- [24] ニャンザン電子新聞, 「ビンフク省 COVID-19を防止するため2つの焼却炉を設置」, 2020年3月30日(in Vietnamese), (2020年11月13日取得, <https://www.nhandan.com.vn/khoahoc-congnghes/item/43845202-vinh-phuc-trien-khai-hai-lo-dot-rac-phong-chong-dich-COVID-19.html>)
- [25] VNETWORK, 「ベトナムインターネット統計 2020」 (in Vietnamese), (2020年11月13日取得, <https://vnetwork.vn/news/thong-ke-internet-viet-nam-2020>)
- [26] 李勇昕, 「台湾のコロナ対応～市民社会の力～」, 「中国・台湾から学ぶ」, 2020年3月19日, 大阪大学未来共創センター・災害ボランティアラボ主催での報告
- [27] 東洋経済オンライン, 自粛最小限でも感染ゼロ台湾の絶妙なやり方, 学級・学校閉鎖の基準はハッキリ, 2020年5月16日5:30, (2020年11月3日取得, <https://toyokeizai.net/articles-/350439>)
- [28] 同上[26]
- [29] 堀茂美, 「韓国・台湾からの周回遅れの FAX 行政」, *中央公論* 2020年7月号 p84-91
- [30] ベトナムの医療事情 PRESTIGE INTERNATIONAL, (2020年11月5日取得, <http://www.hcpg.jp/medicalinfo/south-asia/872.html>)
- [31] 朝日新聞, 「インタビュー 一党独裁の国から新型コロナ ベトナムの民主活動家グエン・クアン・アさん」 2020年6月23日
- [32] 保健省, 「新しいバイオ製品の生産に成功したベトナムは, COVID-19をテストする2つの方法を習得した」, 2020年4月27日 (in Vietnamese), (2020年6月26日取得, https://moh.gov.vn/tin-noi-bat/-/asset_publisher/3Yst7YhbkA5j/content/san-xuat-thanh-cong-sinh-pham-moi-viet-nam-lam-chu-2-phuong-phap-xet-nghiem-COVID-19)
- [33] 石塚二葉, 「ベトナムと中国——因縁の二国間関係の行方」, 日本貿易振興機構アジア経済研究所 IDE スクエア. (2020年11月5日取得, https://www.ide.go.jp/Japanese/IDESquare/Eyes/2018/ISO201820_022.html)
- [34] ファム・レ・ファイ, 「阿倍仲麻呂と安南都護府, 2012年度アジア諸国における日本関連研究助成対象(93)」, 住友財団, (2020年11月5日取得, www.sumitomo.or.jp/pdf/jare/12_jare_seika/jare12-93.pdf)
- [35] 坪井善明, 『ヴェトナム新時代』, 岩波新書, p.161, 岩波書店
- [36] 塚原正典, 「世界各国における新型コロナウイルス対策 ベトナム シンガポール」, 愛知弁護士会会報. No711. 2020年5月 (5月上旬にベトナム YouTube にて確認)
- [37] 毎日新聞, 「台湾の「鉄人大臣」人気沸騰 支持率91% 政府対策本部長, 不眠不休で対応」, 2020年3月27日 18時51分(最終更新 3月27日 23時53分), (2020年10月13日取得, <https://mainichi.jp/articles/20200327/k00000m/030238000e>)
- [38] NHK, 「ETV特集 パンデミックが変える世界～台湾・コロナ取り組み成功への17年」, 2020年6月20日放映
- [39] 朝日新聞, 「厳格な隔離継続 苦悩のベトナム 入国緩和 方針出せず」, 2020年10月6日
- [40] 渡辺まどか, 「信頼を資産とするスウェーデンのコロナ対策」, *科学*, 岩波書店, 2020年10月, Vol90.No10

2020年??日 受稿
2020年??日 受理

On Effectiveness and Requirements for Regional Lockdown as a Prompt Response to Infectious Disease

Hideyuki ITO, Vuong Thi Tuyet Trinh, Muneta YOKOMATSU and Le Thi Kim Oanh

Infectious diseases caused by the new coronavirus (COVID-19), which is said to have appeared in Wuhan, China at the end of 2019, have resulted in a cumulative total of 34 million infected people and about 1 million deaths worldwide 10 months later. This research focuses on Vietnam, which seems to have succeeded in the initial response that aimed at preventing the spread of infection, compared to other countries in the world, and tries to clarify the process of the regional lockdown and measures that were taken to implement the policy. We further take into account the process of Taiwan that is also said to be successful in the initial response to COVID-19, and examine the requirements for effective implementation of the regional lockdown as a part of the initial response, and put in order the conditions for future applications.